

チェーンブロック HN1形

取扱説明書

■ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

■ご使用になるお客様は必ずお読みください。

このたびはニッチチェーンブロックをお買い求めいただき、
まことにありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用く
ださい。

●保守や点検の際には、この取扱説明書が必要になります
ので、お読みになったあとは、大切に保管してください。

お客様メモ 後日のために銘板を見て記入して おいてください。お問い合わせや 部品のご用命の際お役に立ちます。	製品の形式	
	製造番号	
	購入年月日	・ ・

はじめに

本書はチェーンブロックを安全にご使用いただくため、正しい取り扱いと守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

チェーンブロックをお使いになる作業の方および据え付けする方、保守をする方、機械を管理する方を対象として内容をまとめています。

保証・免責について

お買い上げ後、一年以内に発生した故障であって本書記載通りのご使用であれば、修理または部品の交換を行います。

ロードチェーンおよびブレイキライニングの消耗品については保証の対象外です。

尚、次のような場合も保証の対象外となり、弊社は一切責任を負いませんのでご注意ください。

- 定格荷重を超える過負荷で使用することで生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 製品および付属品を改造することにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 自然災害（火災、地震、雷等）、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用中または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、つり荷の損害など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない機器類との組み合わせにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

使用制限について

- チェーンブロックは荷を垂直に上下移動させる用途に使用ください。
- 人間の運搬および移動等には使用しないでください。
- 荷の移動を伴わない設備機械等の一部として、製品を組み込んで使用しないでください。

操作・使用する方について

- チェーンブロックのご使用に際し、法規上特段の規制はありませんが、チェーンブロックの操作および使用を行う方は、安全作業のために玉掛け技能やクレーンの運転教育を受講されることを推奨します。
- この取扱説明書および関連製品の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で操作および使用を行ってください。
- 操作および使用する方は、正しい服装と保護具を着用して行ってください。

安全上のご注意

チェーンブロックの使い方を誤ると、つった荷物の落下などの危険な状態になります。

据え付け・取り付け・操作・保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、注意事項を「危険」、「注意」の2つに区分しています。

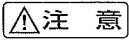
■表示の説明



取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

■記号の説明



禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や付近に具体的な禁止内容が記載されています。



使用者の義務的な行為を指示するものです。
図の中や付近に具体的な指示内容が記載されています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



危 険



- 取扱説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 定格荷重を超える荷は、絶対に掛けないでください。
- つり荷の下や、つり荷の動く範囲に入らないでください。
また、人の頭上を越えての荷の運搬はしないでください。
- 損傷を受けたり、異音がするチェーンブロックは使用しないでください。
- ロードチェーンに次の異常があるときには絶対に使用しないでください。
ねじれ、もつれ、き裂、噛み合い異常があるもの。
規定より伸び、摩耗が大きいもの。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- チェーンブロックを持ち運びする時、引きずったり、放り投げたりしないでください。
チェーンブロックが破損したり傷ついたりして、事故につながる恐れがあります。
- 本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解してください。

目 次

各部の名称	3
諸元表	4
開梱時の確認と記録	5
本製品取扱い上のご注意	5
取付時のご注意	5
取付後の確認と試運転	6
作業を行う前の確認	6
作業中のご注意	7
作業後のご注意	9
点検	9
部品表・部品コード番号一覧表	14
お問い合わせ先	

各部の名称

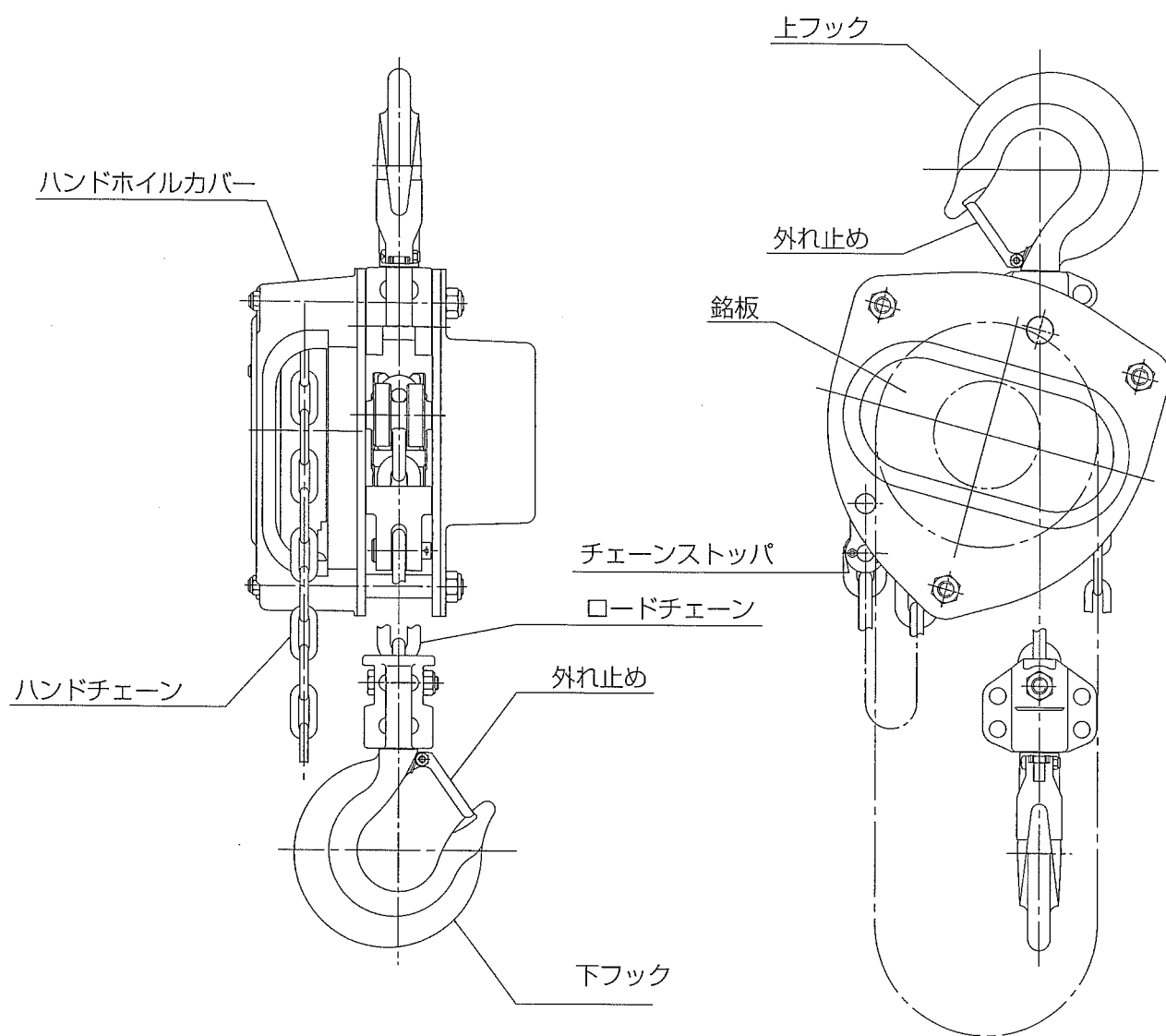
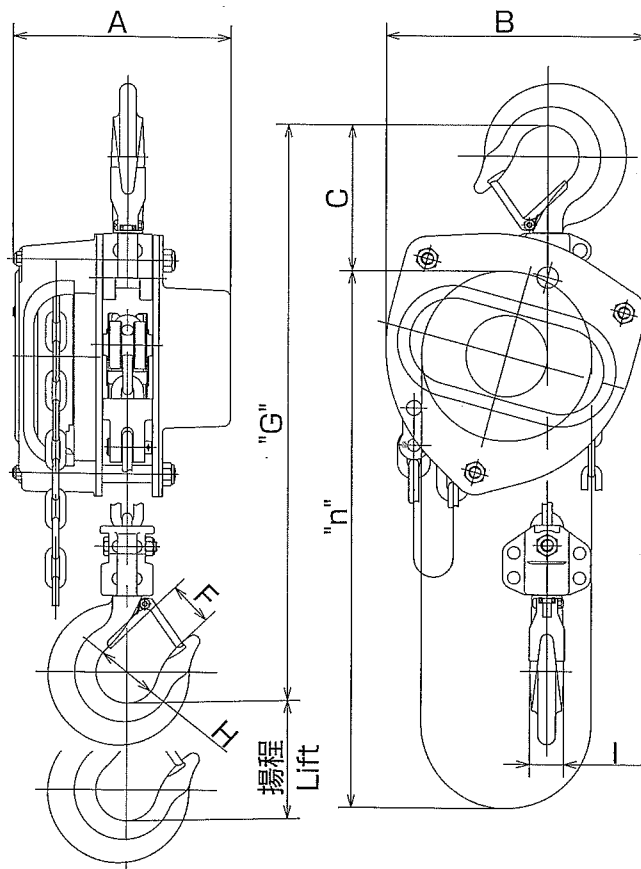
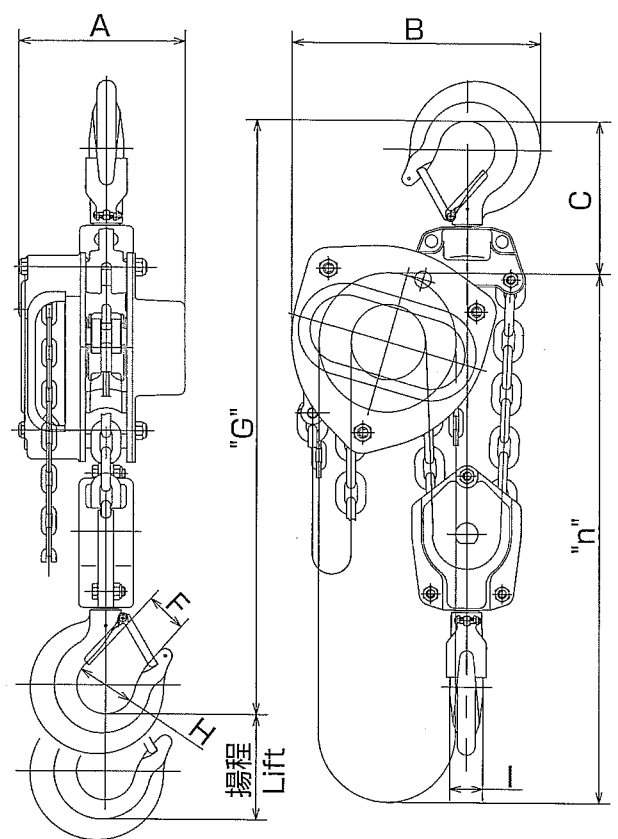


図 1

諸 元 表



HN10050~HN10320



HN10500

品 番	定 格 荷 重 (t)	標 準 揚 程 (m)	ハンド チェーン 標準長さ n (m)	試 験 荷 重 (t)	ロードチェーン		フック間 最小距離 G (mm)	手動力 (N)	質 量 (kg)	外 形 寸 法 (mm)					
					線 径 (mm)	掛 数				A	B	C	F	H	I
HN10050	0.5	2.5	2.5	0.75	5	1	300	243	8.8	132	148	85	22	35	15.5
HN10100	1			1.5	6.3		368	282	11.5	153	172	104	27	40	20.5
HN10160	1.6			2.4	7.1		405	289	15.6	175	197	110	32.5	42.5	19
HN10200	2	3.0	7.9	428	298		19.0	210	118						
HN10320	3.2	3	3	4.8	10		505	426	30.5	204	250	128	39	50	24.5
HN10500	5			7.5		2	660	381	40.4	188	285	175	46	65	42

諸元表の数値は改良のため多少変更することがあります。

開梱時のご注意と記録

- ①製品が届きましたら、箱の表示および製品がご注文された内容と一致するかどうか確認してください。
- ②製品が運送中の事故などで、変形や破損がないことを確認してください。
- ③保守・管理のため、フックの口の開き寸法A、フックの厚み寸法Hを記録しておいてください。（P10参照）

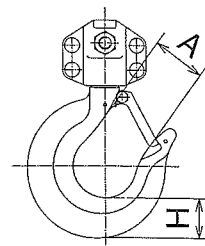


図 2

本製品取扱い上のご注意



危険

- 製品の改造は、絶対にしないでください。
- ニッチ純正部品以外は、絶対使用しないでください。
- ロードチェーン・ハンドチェーンの切断、つぎ足しは絶対行わないでください。



注意

- 製品には泥、砂や異物等が付着しない様にしてください。
付着した場合は除去してください。特にロードチェーンに付着した場合は十分に除去してください。



※付着した状態で使用されますと、ロードチェーンの噛み合いが悪くなったり、故障の原因になります。

取付時のご注意



危険

- チェーンブロックを設置する場所に十分な強度がある事を確認してください。



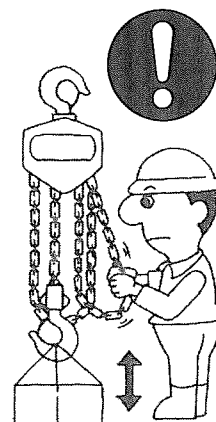
- 取付は、専門業者、専門知識のある人以外絶対行わないでください。



取付後の確認と試運転

注 意

- 下フックがロードチェーンの間をくぐって反転し、ロードチェーンがねじれていないか確認してください。（ロードチェーンの掛け数が2本以上の場合は、ロードチェーンを針金でしばってありますから取り外してください。）
- 取付けが終わりましたら定格荷重の約10%程度の軽い荷重を掛けて、約50mmから100mm程度つり上げて2～3回上下をさせてください。そしてスムーズに動くかどうか、ブレーキが正常かどうかを確認してください。
- 次に定格荷重を掛けて、床面より50mm～100mmつり上げて2～3回上下をさせてください。そしてスムーズに動くかどうか、ブレーキが正常かどうかを確認してください。



■下限まで下げ、下フックの位置と床面迄の距離およびハンドチェーンの一番下の部分と床面までの距離を見てください。使用上、支障が無いか確認をしてください。

作業を行う前の確認

注 意

- 点検基準に基づいて、使用前の点検を行ってください。

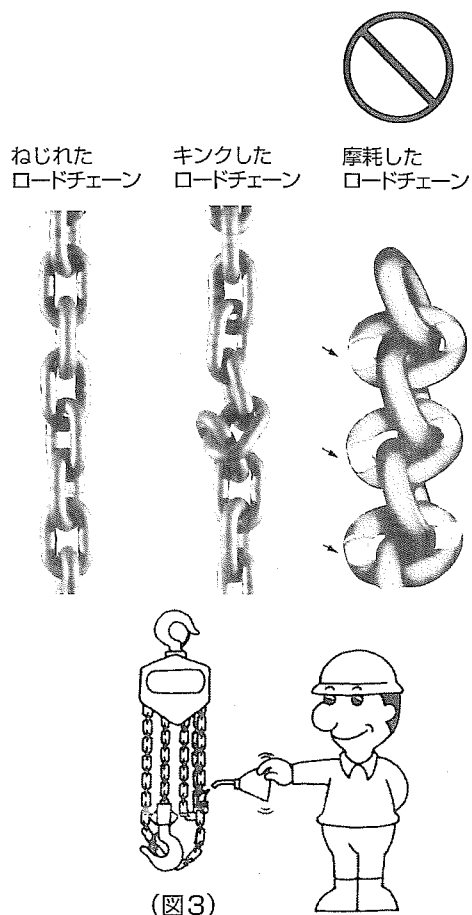


危 険

- 取扱説明書および本体に取り付けられた銘板の内容を熟知しない人は使用しないでください。
- 本体に取り付けられた銘板を外したり、不鮮明なままで使用しないでください。
- フックの外れ止めがないもの、または破損したままでは絶対に使用しないでください。
- 使用前にブレーキ動作を確認し、ブレーキが確実に作動しない時は使用しないでください。
- 損傷を受けたり、異音がするチェーンブロックは使用しないでください。



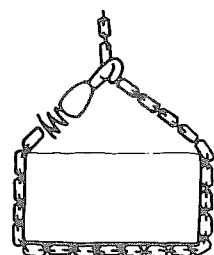
- 使用前にハンドチェーンの動作を確認し、円滑に動作しない時は使用しないでください。
- ハンドチェーンのつなぎリンクの口が開き、変形している場合は使用しないでください。
- フックの口の開きの寸法を確認して、口の開きに変化があった場合や変形、摩耗、腐食があれば使用しないでください。
※上記の現象があるフックはフッカー式で取り替えてください。
- ロードチェーンに次の異常がある時は、絶対に使用しないでください。
き裂、噛み合い異常があるもの、規定より伸び、摩耗が大きいもの。
※取り替えが必要な場合は、営業所にお申し出ください。
- ハンドチェーンがまっすぐな状態で下に引っぱれる様に作業場所を確保してください。
- ロードチェーンに油を塗ってから使用してください。(図3)
※油はマシンオイルかギヤオイルが適当です。



作業中のご注意

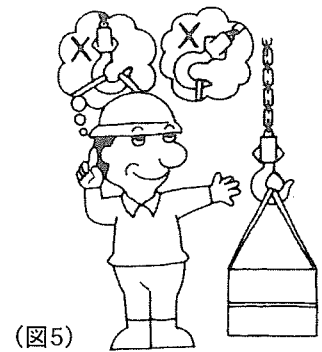
⚠ 危険

- 定格荷重を超える荷は絶対につらないでください。
※定格荷重を超える荷をつると構造部分の破壊、変形等が生じる恐れがあり、思いがけない事故、災害につながる恐れがありますので、定格荷重を超えるつり荷を絶対につってはいけません。
- ロードチェーンを直接、荷に巻き付けしないでください。(図4)
- つり荷やハンドチェーンを他の構造物等に引っかけしないでください。
- 巻上げはロードチェーンが張ったところで、一旦停止してください。
- 荷重を宙づり状態のまま、操作位置を離れないでください。
- つった荷に人は乗らないでください。
- つり荷の下やつり荷の動く範囲に入らないでください。
また、人の頭上を越えての荷の運搬はしないでください。
- つり荷の反転作業はしないでください。
- 荷重を宙づりしたまま電気溶接などをしないでください。

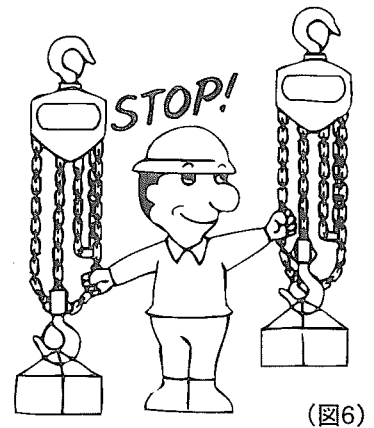


(図4)

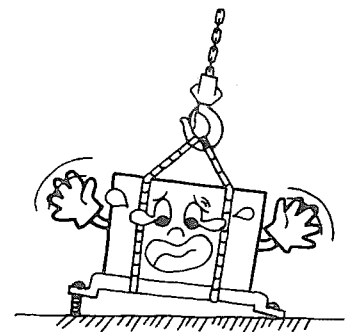
- フックの先端部分で荷をつらないでください。(図5)
- ロードチェーンに溶接機のアースを接続しないでください。
- ロードチェーンに溶接用電極を接触させないでください。
- チェーンストッパに注意してください。(図6)
巻下げ作業でロードチェーンを下限まで使って作業しないでください。
- 操作中は荷から気をそらさないでください。
- 本体を構造物に衝突させないでください。
- ハンドチェーンを動力を用いて引っ張らないでください。
- 鋭利な角にロードチェーンを接触させないでください。
- チェーンブロックを、引きずったり、放り投げたりしないでください。
- 斜め引きをしないでください。荷の真上にチェーンブロックを移動させてからつり上げてください。
- 地球づりをしないでください。(図7)
- 水中で作業をしないでください。
- チェーンブロックを設置する場所に十分な強度があることを確認してください。
- ロードチェーンにねじれがないか確認し、ねじれがあれば下フックのフック金具を回転させて直してください。
- ロードチェーンの特にリンクの接触部に油を塗ってから使用してください。(図8)
※油はマシン油かギヤ油が適当です。
- 玉掛け用具はフックに正しく掛けてください。
- 玉掛けを行った後、外れ止めが正しい位置にあるか確認をしてください。
- 共づりする場合には、それぞれ1台のチェーンブロックでもその荷をつれる定格荷重のものを使用し、必ずチェーンが垂直になるようにつってください。(図9)



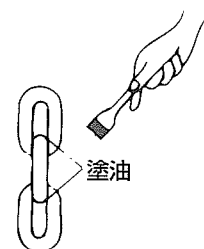
(図5)



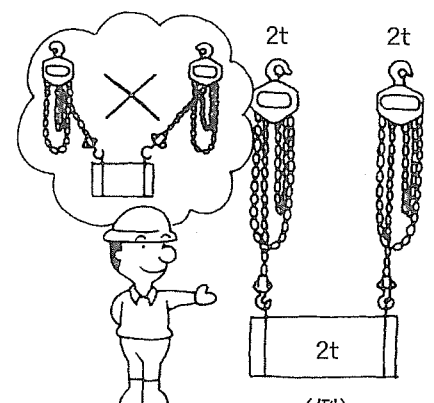
(図6)



(図7)



(図8)



(図9)

(例)

- ハンドチェーンは1本ですので、必ず1人で作業をしてください。
- ハンドチェーンの手動力が急に重くなった場合は、操作を止め点検してください。
- ハンドチェーンの手動力が通常より大きくなったチェーンブロックは使用しないでください。

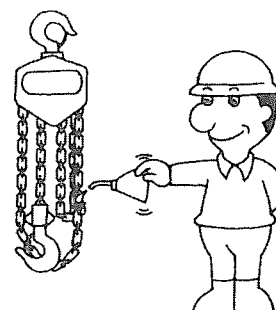


作業後のご注意



注 意

- 泥や水気を拭き取って塗油してから格納してください。
- ※給油箇所はロードチェーン、フックの首の部分、およびガイドローラーです。



- 雨や露のかからない、湿気のない所に格納してください。



点 検



危 険

- 製品の改造は絶対にしないでください。
- ニッチ純正部品以外は、絶対に使用しないでください。
- ロードチェーンの切断、継ぎ足しは絶対行わないでください。



- 保守点検修理は、専門業者あるいは事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 保守点検をする時は、必ずつり荷がない状態で行ってください。
- 保守点検で異常箇所があった時は、そのまま使用せず、直ちに補修してください。
- 修理をするときは、取り外し地面へ降ろして行ってください。





注 意

- 保守点検をする時は、作業中の注意表 **点検中** を必ず取り付け、誤って使用されないように区別してください。



1. フックの点検



危 険

- 上下フックの検査を行った後、次の状態が確認された場合は、必ず交換してください。
 - 口の開きが増大しているもの。
 - き裂が入ったもの。
 - 玉掛け用具と接触する部分の摩耗が認められるもの。



フックの口の開き寸法と摩耗量を測定し、次の条件を満足しない場合は交換してください。

①口の開き寸法

フックの口の開き寸法 A が、開梱時の寸法をこえていないこと。

②フックの摩耗量

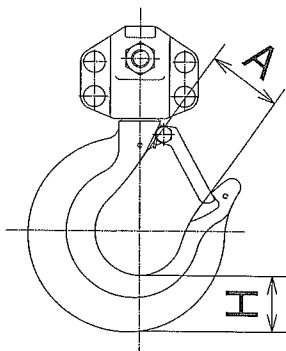
フックの厚み寸法 H が、表1の限界寸法以上であること。

開梱時の寸法

A	mm
H	mm

備考

フックは熱処理等により、記載しています基準寸法より多少の誤差が生じます。ご購入時に寸法を確認し、記録ください。



(図 10)

表1

単位 (mm)

定格荷重 (t)	A 基準寸法	H	
		基準寸法	限界寸法
0.5	25.5	19.3	18.3
1	30.0	25.1	23.8
1.6	34.6	25.7	24.4
2	39.0	33.4	31.7
3.2	42	31	29.4
5	53.2	44.5	42.3

2. ロードチェーンの点検



危 険

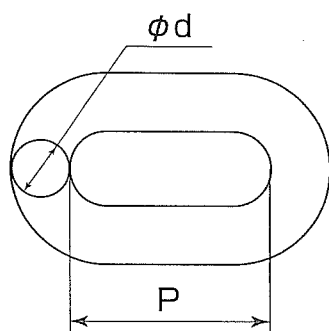
- ロードチェーンの点検を行った後、次の状態が確認された場合は、必ず交換してください。
- ピッチが伸びたもの。
- 傷や変形のあるもの。
- さびているもの。



ロードチェーンのピッチ寸法Pが表2の限界寸法をこえた場合、または線径dが限界寸法以下に減少した場合は、交換してください。

表2

単位 (mm)



(図 11)

定格荷重 (t)	P		d	
	基準寸法	限界寸法	基準寸法	限界寸法
0.5	15.1	15.8	5.0	4.5
1	19.1	20.0	6.3	5.7
1.6	21.2	22.2	7.1	6.4
2	24.2	25.4	7.9	7.2
3.2・5	30.3	31.8	10.0	9.0

※ロードチェーンの摩耗が大きい場合は、ロードシーブやロードチェーンガイドの摩耗状態も確認してください。

3. 点検基準

表3

	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
表示等	○	○	表示 (銘板)	目視	表示 (銘板) の有無
	—	○	ロードチェーンの種類・等級・種類の記号。	目視	ロードチェーンの種類・等級・種類の記号の確認
作動	○	○	巻上げ・巻下げ作動	無負荷で巻上げ・巻下げを行う。	1.巻上げでブレーキ装置のつめの音がすること。 2.巻上げ・巻下げの作動が、円滑であること。 3.巻下げでブレーキに異常がないこと。

※定期点検における作動は、分解・組立など整備後に行ってください。

	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
作 動	—	○	※作動	作動は表4に示す作動荷重をつるし、表5の作動距離を2回巻上げ・巻下げを行う。	1.ハンドチェーンとハンドホイール及びロードチェーンとロードシーブとの噛み合いは良好であること。 2.歯車の噛み合いは良好で、円滑に作動すること。 3.ブレーキは確実に作動すること。 4.巻上げ・巻下げに際して、ロードチェーンは、ねじれ及びもつれがないこと。 5.巻上げるときの手動力が、著しく変わらないこと。
フ ック	○	○	口の開き	日常点検では目視 定期点検では測定	標準寸法と比較し、変形がないこと。 (使用前に主要寸法表を作成しておくこと。)表1参照
	○	○	変形	目視	曲がりおよびねじれがないこと
	○	○	首部の変形	目視	フック金具とフックの首部に著しいすきまがないこと。 首部のゆがみがないこと。
	○	○	摩耗、腐食	日常点検では目視 定期点検では測定	著しい摩耗又は腐食がないこと。
	○	○	きず、その他有害な欠陥	目視	き裂、その他有害な欠陥がないこと。
	○	○	外れ止め	目視・作動	著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
ロ ー ド チ ェ ー ン	○	○	ピッチの伸び	日常点検では目視 定期点検では測定	摩耗などによるチェーンのピッチが5%以上伸びているものは使用しないこと。表2参照 (使用前に主要寸法表を作成しておくこと。)
	○	○	摩耗	日常点検では目視 定期点検では測定	線径の摩耗が10%以上のものは使用しないこと。表2参照
	○	○	変形	目視	変形がないこと。
	○	○	きず、その他有害な欠陥	目視	き裂、その他の有害な状態がないこと。
	○	○	腐食	目視	著しいさびが発生していないこと。
チ ェ ー ン	○	○	ピッチの伸び、変形	目視又は測定	著しいピッチの伸びまたは変形がないこと。

※定期点検における作動は、分解・組立など整備後に行ってください。

	点検の種類		点検項目	点検方法	点検基準
	日常	定期			
本体	○	○	フレーム	目視	変形又は著しい腐食がないこと。
	○	○	歯車箱	目視	著しい変形および腐食がないこと。
	○	○	チェーンストッパ	分解して目視	変形や割ピン抜けがないこと。
ナット	○	○	各部のナット、リベット、割ピン	目視	1.日常点検では外部から見える箇所のナット、リベット、割ピンなどの有無とナット、リベットのゆるみがないこと。 2.定期点検では外部及び内部の上記部品に異常がないこと。
他	—	○	その他	作動	その他使用上有害な欠陥がないこと。

※定期点検における作動は、分解・組立など整備後に行ってください。

表4 作動試験における作動荷重

単位 (t)

定格荷重	0.5	1	1.6	2	3.2	5
作動荷重	0.75	1.5	2.4	3	4.8	7.5

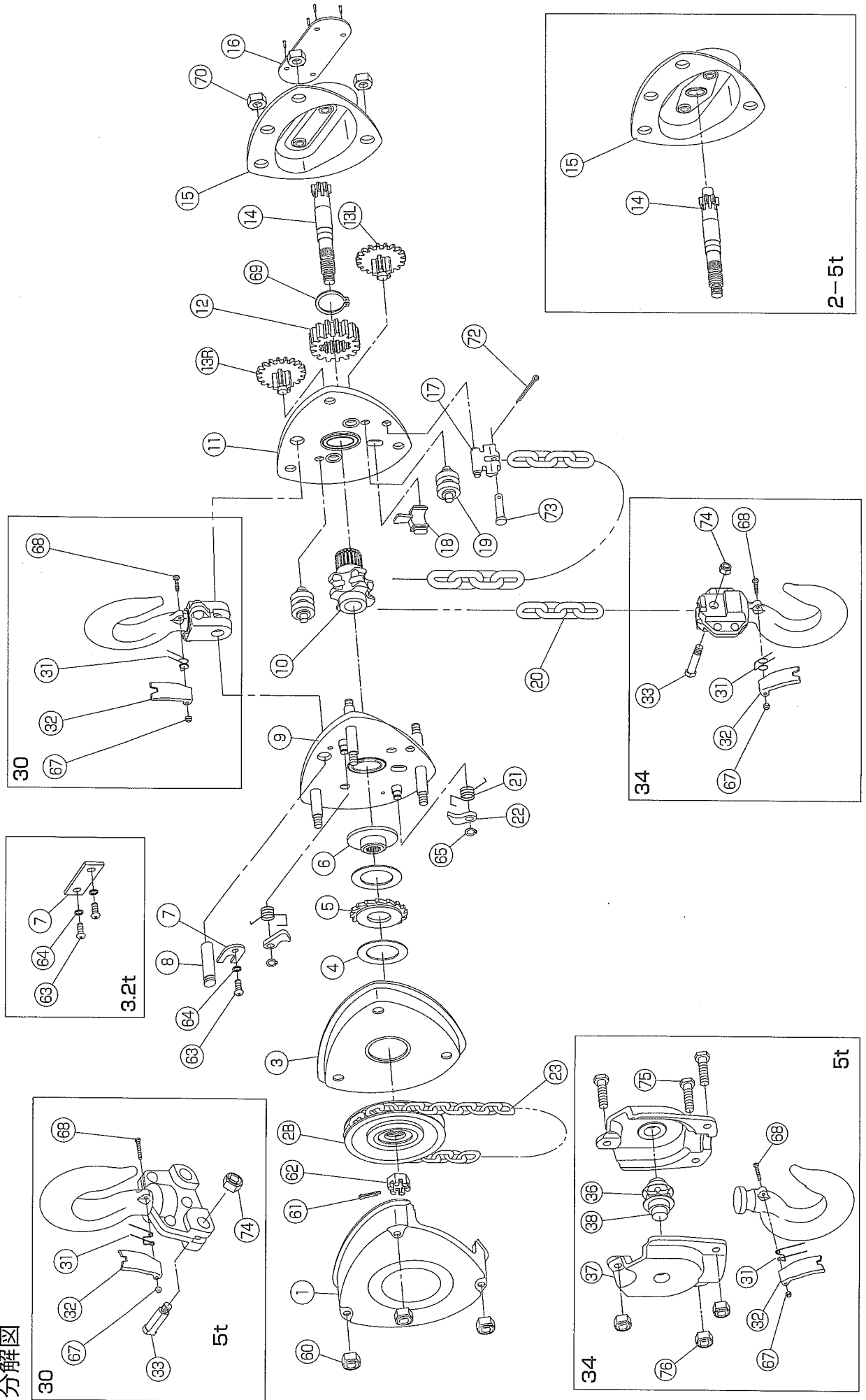
回数は、巻上げ・巻下げの往復で1回とする。

表5 作動試験における作動距離

ロードチェーン掛数	作動距離
1本	50cm
2本	25cm

部品表・部品コード番号一覧表

分解図



品番	部 品 名	個数	0.5t	1t	1.6t	2t	3.2t	5t
1	ハンドホイルカバー	1	SL-0.5N-1027	SL-1N-1027	SL-1.5N-1027	SL-2N-1027	SL-3N-1027	SL-5N(S)-1027
2B	ハンドホイル	1	LHC.B0.5-1026	SL-1A-1026	SL-1.5A-1026	LHC.B2-1026	LHC.B3-1026	LHC.B5-1026
3	ラチェットカバー	1	SL-0.5A-1032	SL-1A-1032	SL-1.5A-1032	SL-2A-1032	SL-3A-1032	SL-5A-1032
4	ブレーキライニング	2	LHC.B1-1021					
5	つめ車	1	LHC.B1-1022					
6	ディスクハブ	1	SL-0.5A-1020	SL-1A-1020	LHC.B2-1020		LHC.B3-1020	LHC.B2-1020
7	フックピン用キープレート	1	PHD1-1030					
8	上フックピン	1	PHD0.5-1006	PHD1-1006	PHD1.5-1006	PHDD2-1006	PHDD3-1006	PHD5-1006
9	ホイルサイドプレート1式	1	SL-0.5A-1003U	SL-1A-1003U	SL-1.5A-1003U	SL-2A-1003U	LHC.B3-1003U	SL-5A-1003U
10	ロードシーズ	1	SL-0.5N-1014	SL-1N-1014	SL-1.5N-1014	SL-2N-1014	SL-3N-1014	SL-5N-1014
11	ギヤサイドプレート1式	1	SL-0.5A-1004T	SL-1A-1004T	SL-1.5A-1004T	SL-2A-1004T	LHC.B3-1004T	SL-5A-1004T
12	ロードギヤ	1	PHD0.5-1009	PHD1-1009	LHC.B2-1009	PHD1.5-1009	LHC.B3-1009	PHD5-1009
13R	ピニオンギヤ1式 (R)	1	PHD0.5-1010T	PHD1-1010T	PHDA1.5-1010T	SL-2A-1010T	LHC.B3-1010T	PHD5-1010T
13L	ピニオンギヤ1式 (L)	1	PHD0.5-1011T	PHD1-1011T	PHDA1.5-1011T	SL-2A-1011T	LHC.B3-1011T	PHD5-1011T
14	ピニオンシャフト	1	SL-0.5A-1008	SL-1A-1008	SL-1.5A-1008	SL-2A-1008	LHC.B3-1008	LHC.B5-1008
15	ギヤケース1式	1	SL-0.5N-1016T	SL-1N-1016T	SL-1.5N-1016T	SL-2N-1016T	SL-3N-1016T	SL-5N(S)-1016T
16	銘板	1	GHN1016A	JHN1016A	KHN1016A	LHN1016A	NHN1016A	PHN1016A
17	チェーンストップパ	1	LHC.B0.5-1018	LHC.B1-1018	LHC.B1.5-1018	LHC.B2-1018	LHC.B3-1018	LHC.B5-1018
18	ストリッパ	1	LHC.B0.5-1017	LHC.B1-1017	LHC.B1.5-1017	LHC.B2-1017	LHC.B3-1017	LHC.B5-1017
19	チェーンガイドローラー	2	PHD0.5-1015	SL-1N-1015	PHD1.5A-1015	PHD1.5-1015	SL-3AT-1015	PHD5-1015
20	ロードチェーン	1	φ5	φ6.3	φ7.1	φ7.9	φ10	
21	つめ用ばね	2	LHC.B1-1025					
22	つめ	2	LHC.B1-1024					
23	ハンドチェーン	1	HSSL-5×23.7					
30	上フック1式	1	SL-0.5A-1002TU	SL-1A-1002TU	SB160-501KTU	SL-2A-1002TU	SB320-501KTU	SL-5A(S)-1002TU
31	外れ止め用ばね	2	SL-0.5A-2104	SL-1A-2104	SL-1.5A-2104		SL-10A-2104	SL-5A-2104
32	外れ止め	2	SL-0.5A-2103	SL-1A-2103	SL-1.5A-2103	SL-2A-2103	SB320-502K	SL-5A-2103
33	テールホルダ用ボルト	1	SL-0.5A-2102	SL-1A-2102	SL-1.5A-2102	SL-2A-2102	SL-3A-2012	

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dashed lines.

MEMO

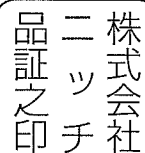
お問い合わせ先

製品にご不明な点があれば、必ず下記に問い合わせてください。

本 社 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-1000号 電話 (06) 6344-6231 FAX. (06) 6456-2920
東大阪工場 〒578-0924 大阪府東大阪市吉田4丁目7番17号 電話 (072) 961-2181 FAX. (072) 961-2188
E-mail info@nitchi.co.jp http://www.nitchi.co.jp/
東 京 営 業 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-21住友不動産ビル5階 電話 (03) 5437-7839 FAX. (03) 5437-7826
E-mail tokyo@nitchi.co.jp
名古屋営業 〒460-0024 愛知県名古屋市中区正木 1- 2 - 4 電話 (052) 323-2539 FAX. (052) 323-2528
E-mail nagoya@nitchi.co.jp
大 阪 営 業 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-400号 電話 (06) 6344-6488 FAX. (06) 6344-6492
E-mail osaka.branch@nitchi.co.jp
九 州 営 業 〒812-0893 福岡市博多区那珂6-1-37 電話 (092) 451-1170 FAX. (092) 412-1775
E-mail hakata@nitchi.co.jp

検 査 合 格 証

このニッチ製品は弊社の製品規格にもと
づき厳密且つ合理的な品質管理のもとに
作られ、さらに厳重な検査に合格したこ
とを証明します。



- 本書の内容につきましては、予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきまして、不明な点、お気づきの点がございましたら、弊社営業までお問い合わせください。

HN1-2 25.4. 2,000 (K)
頒布価格525円 (本体500円)